



広陵町

No.117

令和4年5月1日



# 議会だより



## 予算を審査 何に使うの？

### 目次

P2	就任のごあいさつ
P3	常任委員会・議会運営委員会
P4	地域のつながり
P5	議会News
P6	令和4年度予算審査
P9	提出議案・意見書
P14	一般質問
P28	委員会の窓



# 吉村 裕之議員が議長に 副議長には 山村 美咲子議員



議長  
吉村 裕之



副議長  
山村 美咲子

## 就任のごあいさつ

木々を渡る風もさわやかなころとなりました。町民皆さまには、平素より町議会へのご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。私たちは、このたびの町議会臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さを深く感じております。

今、様々な社会的課題の解決が求められているなか、新型コロナウイルス感染症や自然災害など、不安定な事象にも対応していくことが必要とされる現状において、持続可能な行政サービスの提供には、行政経営という意識が求められます。そこに必要となるのは町行財政への住民の目線と、観察・状況判断・意思決定・実行、この流れを繰り返すことです。

議会は、住民全体の立場に立った「具体的な政策の最終決定」と、決定した政策を行う執行機関の「行財政運営の批判と監視」という二つの使命を果たすとともに、議会基本条例のもと町民の皆さまへの議会報告と意見を交わす機会をつくり、開かれた議会、討論する議会、行動する議会の実現を目指し、議員一丸となって尽力したいと考えております。さらなる住民福祉の増進と地域の活性化に向け、町民の代表としての責任を強く自覚し、皆さまの思いをしっかり受け止め、その負託に応え、力を発揮すべく、公平公正な議会運営を心がけてまいります。

町民の皆さまにおかれましては、今後とも町議会の活動を注視いただき、より一層のご理解と協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

令和4年

第3回

臨時会

4月15日

臨時会が、4月15日に招集されました。案件1件が提出され、原案のとおり同意しました。また、議長・副議長などの役員改選が行われました。

## 人事

### ☆町監査委員の選任

町監査委員のうち、議会議員からおかはししょうじ岡橋庄次議員(大字百済)を選任することに同意しました。

# 常任委員会構成決まる

一定部門の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行うために、総務文教委員会と厚生建設委員会の常任委員会があります。また、議会を円滑にするために、議会運営委員会が設置されております。

## 総務文教委員会

〈主な所管事項〉  
行政一般、財政及び他の委員会に属さない事項を審査



委員長  
堀川 季延



副委員長  
八尾 春雄



委員  
岡橋 庄次



委員  
青木 義勝



委員  
吉村真弓美



委員  
吉村 裕之



委員  
坂口 友良

## 厚生建設委員会

〈主な所管事項〉  
社会福祉、保健衛生、労働その他厚生一般に関する事項及び土木、耕地、都市計画その他建設一般に関する事項及び商工、観光、上下水道事業に関する事項を審査



委員長  
坂野 佳宏



副委員長  
千北 慎也



委員  
岡本 晃隆



委員  
谷 禎一



委員  
山村美咲子



委員  
笹井 由明



委員  
山田美津代



委	委	委	委	副	委
員	員	員	員	委員長	委員長
八	青	岡	吉	千	笹
尾	木	本	村	北	井
春	義	晃	真	慎	由
雄	勝	隆	弓	也	明
			美		

議会運営委員会

第15回

# 地域のつながり

町内で活動している団体やサークルを紹介します。(活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています。)

## おはなしポケット

### 活動の目的(平成7年に発足)

スマホ等の普及により、子どもたちが本を手取る機会が少なくなったように感じます。本に触れることで、想像力や感受性が育まれます。読み聞かせを通じて、本好きになってもらえたら嬉しいです。

また、それぞれの地域で、子育ての相談や悩みを共有する機会が少ない方々にとって、少しでもこの場所が、交流できる場所、子どもと一緒に過ごせる場所になるといいなと思い、活動を始めました。現在は、9人のメンバーが、活動しています。



▲「おはなしポケット」メンバー紹介

### 活動内容

- ・絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサート(紙人形劇)など
- ※大型紙芝居やペープサート(紙人形劇)は、すべて手作り

### 活動場所

町立図書館(毎月第1土曜日)、学校、保育園、幼稚園、こども園、なかよし広場、高齢者施設等

### 今後の活動

- ・コロナ対策をしっかりとしながら
- ・コロナの感染状況を観察し、町立図書館での活動を続けていきます。
- ・小学校でのお話し会も、学年別を実施するなど、方法を小学校と相談しながら行っていきたいと考えています。



▲町立図書館(毎月第1土曜日)

### 最後に

これからも、これまでの活動場所に限らず、地域の公民館や集会所などを利用して、読み聞かせや紙芝居、歌などを通じて、子どもたちや高齢者などと楽しく交流できるような場所をつくっていききたいと考えています。

私たち自身も、楽しく取り組むことを大切にしていきたいです。

### 問合せ先

広陵町社会福祉協議会(さわやかホール)  
TEL 0745-55-8300  
おはなしポケット代表 武藤 佳子



# 議会 News ニュース

## ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し 断固抗議し、平和的解決を求める意見書

2022年2月24日、ロシア政府は一方的にウクライナへの軍事侵攻を行い、ウクライナ各地への攻撃により、多くの罪のない市民が犠牲になっている。

このことは、国際社会のみならず我が国の平和、秩序及び安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて許すことはできない。

また、プーチン大統領は、今回の軍事攻撃に当たり、核戦力の行使をも示唆している。我が国は核兵器がもたらした破滅的な被害を知る被爆国であり、核による脅威を振りかざすこのような言動に対しても、断固抗議しなければならない。

ここに奈良県広陵町議会として、世界の恒久平和実現に向け、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、政府に対し、下記の事項について求める。

### 記

- 1 ロシア政府に対し、国際法と国連憲章の下に、ウクライナ国民の生命や生活を脅かす軍事攻撃の即時停止と部隊撤収を求めること。
  - 2 我が国の憲法の下、対話外交を強め、戦争拡大の回避に最善の努力を尽くすこと。
  - 3 ウクライナ国民への人道的支援、ウクライナ及び近隣国における邦人の安全確保に万全を期すこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月10日

奈良県広陵町議会

内閣総理大臣 岸田 文雄 様  
 外務大臣 林 芳正 様  
 防衛大臣 岸 信夫 様



3月11日、町長・議長連名により別途ロシア大使館宛の抗議文が明らかにされています。※紙面の都合上、P28に掲載しています。



この意見書を全会一致採択した後、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを祈念して、3月議会閉会后、本会議場で撮影しました。

## 現地確認

3月22日(火)

### クリーンセンターが稼働を停止しました

町広報でも明らかな通り、即決和解という判決と同等とも言うべき重い裁定が下されており、町はこれを守りました。3月22日議会閉会后に議会議員が現地に出向き稼働停止を確認しております。



## 政策討論会

3月11日(金)

### 第5次広陵町総合計画を 「政策討論会」で議論しました

議会基本条例第14条に定める政策討論会（於クリーンセンター会議室）を開催しました。3月14日に開催される総務文教委員会に向けて、事前に議員全員で計画内容を確認しております。

議員からは、「議案が提案されてからの審議では間に合わないので、町が準備すると並行して議会も取り組む必要がある」との声も出ているため、引き続きこの条例運用の具体化をはかってまいります。

# 令和4年度一般会計予算を可決

このようなことに使われます

**予算額134億8,000万円**

## 子ども医療費助成事業

現在、子育て世帯に対する中学校卒業までの医療費助成の対象年齢を、18歳までに引き上げ、広く子育て世帯の医療費を助成し、その経済的負担を軽減する。

予算  
**840**  
万円

## 子ども家庭総合支援拠点設置・運営事業

子ども及び妊産婦の福祉に関し、必要な支援を構築するための拠点をさわやかホールに設置する。特に、要支援児童及び要保護児童等への支援強化を図る。

予算  
**496**  
万円

## 地域資源ブランディング事業

町内の靴下事業者が有するファクトリーブランド商品や町内で生産されたイチゴを中心とする農産物を国内外に展開するとともに、「広陵くつした」におけるブランドイメージの形成及び知名度向上を図る。



予算  
**600**  
万円

## 社会資本整備総合交付金事業

国の創意工夫を生かせる総合的な交付金を活用し、道路や橋りょう、公園、通学路等の住環境・市街地整備などの事業を行う。(箸尾準工業地域道路、平尾疋相線、百済中央線バイパス、南郷8号線、赤部26号線、西谷公園ほか)

予算  
**6億4,836**  
万円



南郷8号線

## 西校区認定こども園整備事業

広陵西幼稚園及び広陵西第二幼稚園を廃園し、民設民営となる「畿央大学付属広陵こども園」の整備に関して補助金を交付する。



建設予定地 (奥の建物は、現広陵西第二幼稚園)

予算  
**3億1,205**  
万円

## 学校給食費多子軽減補助金

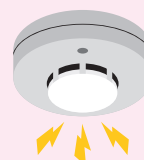
中学3年生以下の子どもを3人以上養育する世帯で、かつ第3子以降が小学1年から中学3年までの児童及び生徒に対して学校給食費相当分の補助を行う。



予算  
**660**  
万円

## 高齢者火災警報器購入助成事業

住宅用火災警報器の義務付けから10年。住宅火災による高齢者の死亡事例が相次ぐ中、逃げ遅れによる被害を防ぐため、75歳以上の高齢者世帯で住民税非課税者を対象に住宅用火災報知器の助成を行う。



予算  
**200**  
万円

## 平成緊急内水対策事業

奈良県との連携により、古寺川・広瀬川・馬見川流域で雨水を一時貯留する施設を整備し、流域で発生する浸水被害の頻度を軽減させる。また、貯留施設は非貯留時に運動施設等の有用な活用ができるような施設機能を併せて検討する。

予算  
**4億2,900**  
万円



# 予算審査

質疑

ここが聞きたい

## 特別委員会

### 一般会計

134億  
8,000  
万円

### 歳入

**問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使用用途は。

**答** コロナウイルス感染症対応であれば充当可能であり、中小企業のデジタル化交付金や設備投資の補助金等である。

**問** 指定ごみ袋の手数料は近隣市町村と比べてどうか。

**答** ごみ袋の料金は、近隣市町村とほぼ同じで設定。

### 総務費

**問** 戸籍事務内連携サーバー設置システム改修の理由とメリットは。

**答** 国の標準化仕様と整合を図るための改修で、戸籍謄本等は本籍地以外でも取得でき、また届出において戸籍謄本等の提出が省略できる。(実施時期は未定)

**問** 公共施設の広域連携に新施設の共同設置の検討は。

**答** 共同検討会では共同利用の検討から進めており、共同管理・共同設置の検討はその後で。

### 民生費

**問** 高齢者住宅用火災報知器の設置の助成は。

**答** 消防と民生委員で該当世帯を訪問し、設置の有無を確認中。購入分も含め補助の制度を進める。

**問** 自動車改造費補助事業は障がい者のサポート者にも支援が必要。

**答** 支援者の声が多ければ要綱を見直す考えはある。

### 衛生費

**問** し尿処理について、下水普及に向けての取組みは。

**答** 市街化調整区域の開発もあることから、浄化槽でのくみ取りが微増。要件の見直しが必要。

### 農商工費

**問** 環境に優しい農業推進補助

金は、こういった団体を想定しているか。

**答** 区・自治会や農事実行組合を想定している。

### 土木費

**問** 箸尾駅前周辺は水害のある地区だが、土地利用計画の見通しは。

**答** 浸水想定深は十分念頭に置き対策を取っていききたい。

**問** RVパークの現状は。

**答** 電気設備を整えて、「RVパーク」として認定変更のため整備工事を計上。

### 消防費

**問** 地震ブレイカー設置の面的普及は。

**答** 4年間で230件の設置だが、整備率は10%程度の状況。

## 教育費

**問** 要保護・準要保護児童就学援助費が減額されている理由は。

**答** 全体に児童・生徒数が減少傾向のため。

**問** 巢山古墳整備事業の整備後の展開は。

**答** 周遊路を整備して、古墳の周囲を巡りながら、古墳の大きさを体験してもらう。

## 国民健康保険特別会計

38億  
2,780万円

**問** 特定健康診査等事業費は何名程度予定か。未受診者に対する勧奨、効果は。

**答** 人数は、個別1,600人、集団600人計上。未受診の理由を分析し、その人に応じた通知で内容を変更し送付する方法に変更。

## 後期高齢者医療特別会計

5億  
3,890万円

**問** 滞納繰越分普通徴収保険料の現状は。

**答** 16世帯61万円の滞納者があり、収入が少ないためのもとの把握している。

## 介護保険特別会計

26億  
6,960万円

**問** 社会資源把握支援サービスシステム構築委託料の内容は。

**答** 介護施設、医療、地域の通いの場などの情報を載せたシステムを構築しており、ランニングコストの委託料である。

**問** 特定入所者介護サービス費及び第1号通所事業の予算が減額の理由は。

**答** 特定入所者介護サービス費は、制度改正のため自己負担額の変更による公費負担の減額である。

第1号通所事業(短期集中サービスC)はコロナ禍による未実施のための減額計上。



## 墓地事業特別会計

1,950万円

**問** 合葬墓の状況と町営墓地の返還金の割合は。

**答** 合葬墓には現在36件の納骨がある。一般墓地は購入金額の6割、墓石建立使用の場合は現状復帰で2割の返還。

## 学校給食特別会計

3億  
1,570万円

**問** 食材関係が高騰している。給食費の長期的な考えは。

**答** コロナ禍など特殊事情があり、しばらくは公費負担で補えるよう検討している。

## 水道事業会計

(収益的支出)  
8億6,507万9千円  
(資本的支出)  
3億3,676万6千円

**問** 技術支援業務委託料2名の考え方は。

**答** 工事図書の作成、工事現場の管理等高度な知識が必要なため

委託。

## 下水道事業会計

(収益的支出)  
10億6,749万3千円  
(資本的支出)  
6億400万8千円

**問** 下水道料金値上げの予定は。

**答** コロナ禍の中、値上げ検討は中断しているが、水道広域化のタイミングで下水道料金の適正化を検討する。

## 予算審査特別委員会

委員長	堀川 季延
副委員長	笹井 由明
委員	山田美津代
委員	坂野 佳宏
委員	吉村 裕之
委員	吉村 眞弓美
委員	青木 義勝





## 令和4年第1回(1月19日)臨時会提出議案

議案番号	件名	概要
議案第1号	令和3年度広陵町一般会計補正予算(第12号)	子育て世帯臨時特別給付金に関する補正(所得制限の撤廃等)

## 令和4年第2回(2月22日)臨時会提出議案

議案番号	件名	概要
議案第2号	広陵町新清掃施設操業停止後における中継施設活用等に関する古寺区との協定について	令和4年3月18日クリーンセンター稼働停止後、ゴミ積み替え施設として利用すること他について古寺区と協定した
議案第3号	広陵町新清掃施設操業停止後における中継施設活用等に関する中区との協定について	同上(中区)
議案第4号	広陵町新清掃施設操業停止後における中継施設活用等に関する広瀬区との協定について	同上(広瀬区)
議案第5号	広陵町新清掃施設操業停止後における中継施設活用等に関する百済区との協定について	同上(百済区)
議案第6号	広陵町ごみ中継施設設置条例の制定について	クリーンセンターを廃止して新たな中継施設を設置する
議案第7号	一般職の職員の給与に関する条例及び広陵町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正することについて	職員の勤務条件の著しい変化に柔軟に対応できるように、給料の調整額規程を設ける
議案第8号	令和3年度広陵町一般会計補正予算(第13号)	クリーンセンター稼働停止に伴うピット内の清掃等

## 令和4年3月定例会提出議案(議案は採決し、報告は町長専決の報告)

議案番号	件名	概要
報告第1号	広陵町下水道条例の一部を改正する条例の専決処分 の報告について	条文の段ずれを訂正する専決
報告第2号	令和3年度広陵町一般会計補正予算(第11号)の 専決処分の報告について	非課税世帯への10万円給付のための専決
報告第3号	令和4年度広陵町土地開発公社予算について	令和4年度予算を報告する
議案第9号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めること について	松井秀史氏を再任する
議案第10号	広陵町教育・文化芸術振興基金条例の制定について	教育・文化芸術振興のための新たな基金を設ける
議案第11号	広陵町体育施設使用料適正化検討委員会設置条例の 制定について	体育施設使用料を見直すための委員会を設置する
議案第12号	広陵町行政組織条例の一部を改正することについて	行政組織の見直しを行う
議案第13号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する ことについて	育児休業法改定に伴い条例を改定(男性の取得 が焦点)する
議案第14号	広陵町国民健康保険税条例の一部を改正すること について	国保の県単位化を前提とした国保税の引き上げ と、国が行う子どもの均等割り半額減額を同時 に進める

議案番号	件名	概要
議案第 15 号	財政状況の公表に関する条例の一部を改正することについて	財政状況の公表時期(2月・8月を6月・12月に)と公表方法を変更(庁舎前掲示板から広報紙・HP)する
議案第 16 号	広陵町放課後子ども育成教室条例の一部を改正することについて	設置目標の改定及びもくせいクラブを廃止する
議案第 17 号	広陵町子ども医療費助成条例の一部を改正することについて	高校卒業までの医療費を無料化する
議案第 18 号	広陵町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正することについて	自転車通行帯、将来の自動運転対応道路について定める
議案第 19 号	広陵町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	自転車・歩行者専用道路の整備を行う
議案第 20 号	広陵町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正することについて	年金担保貸付事業の廃止に伴い「但し書き」を廃止する
議案第 21 号	令和3年度広陵町一般会計補正予算(第14号)	*多岐にわたる(年度末の不用額調整を含む)
議案第 22 号	令和3年度広陵町学校給食特別会計補正予算(第1号)	賄い材料費負担額を調整する
議案第 23 号	令和3年度広陵町水道事業会計補正予算(第3号)	営業収益と営業費用の変更
議案第 24 号	令和3年度広陵町下水道事業会計補正予算(第1号)	資本的収入と資本的支出の変更
議案第 25 号	令和4年度広陵町一般会計予算	令和4年度の<一般会計予算>を定める
議案第 26 号	令和4年度広陵町国民健康保険特別会計予算	<国民健康保険特別会計予算>
議案第 27 号	令和4年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算	<後期高齢者医療特別会計予算>
議案第 28 号	令和4年度広陵町介護保険特別会計予算	<介護保険特別会計予算>
議案第 29 号	令和4年度広陵町墓地事業特別会計予算	<墓地事業特別会計予算>
議案第 30 号	令和4年度広陵町学校給食特別会計予算	<学校給食特別会計予算>
議案第 31 号	令和4年度広陵町水道事業会計予算	<水道事業会計予算>
議案第 32 号	令和4年度広陵町下水道事業会計予算	<下水道事業会計予算>
議案第 33 号	第5次広陵町総合計画を定めることについて	第5次広陵町総合計画を定める
議案第 34 号	奈良県広域消防組合理約の変更について	議員定数、任期を見直す
請願第 1 号	広陵町の有料ゴミ袋を半額にすることを求める請願について	有料ゴミ袋を半額にすることを求める請願
議員提出 議案第 1 号	予算審査特別委員会設置に関する決議について	予算審査特別委員会(7名)を設置する
議員提出 議案第 2 号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し断固抗議し、平和的解決を求める意見書について	政府に対して、平和的解決を求める意見書を提出する
議員提出 議案第 3 号	広陵町ごみ減量等推進審議会の再開を求める決議について	ごみ減量等推進審議会の再開を求める決議
議員提出 議案第 4 号	政党助成金の廃止等を求める意見書について	政府に対して、政党助成金の廃止等を求める
議員提出 議案第 5 号	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書について	政府に対して、デジタル化の推進を求める



## 広陵町ごみ減量等推進審議会の再開を求める決議

脱炭素社会の実現や地球環境への負荷の減少にむけた持続可能な循環型社会形成への推進は、わが国のみならず世界共通の課題として、将来世代に対する現在を生きるものの責務である。

本町においては、平成12年に設置された「広陵町ごみ減量等推進審議会」における審議を踏まえ、平成18年11月からごみ減量を目的にごみ有料化が実施され、住民や事業所等の理解と日々の協力により、人口の増加に反比例する形で、可燃ごみは減量した。今後は更なるごみの発生回避に取り組んでいく必要がある。

本町におけるごみ処理施設等については、平成11年に住民訴訟が提起されたことによる移転、また、新たな設置場所においては平成19年から15年間を操業期間とすることを条件に、設置地及び周辺地域の住民の理解と協力により協定書を締結し、現クリーンセンターを設置操業してきた。令和4年3月18日をもって当該施設の操業停止にあたり、協定書の変更により、引き続き当該施設の一部をごみ積み替えの中継施設として使用することが可能となった。

現クリーンセンターの操業停止後は、ごみの中継については令和7年稼働予定の安堵町における「まほろば環境衛生組合」において、そして、ごみの処理については天理市における「山辺・県北西部広域環境衛生組合」において、それぞれ設置及び運営等を共同して行われる。本町としては、ごみ処理施設等の設置場所がどこにあろうと、環境負荷軽減に向けたごみ発生量自体の抑制と、排出においても循環型社会の形成に資する取組を施行する必要がある。これらは今後発生する広域処理への本町の負担金の軽減に繋がる。

しかし、それらごみの減量(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)及び断る(リフューズ)の4Rへの取組推進や、適正処理施設の建設、運営、処理、公害防止対策、地元環境対策等、近年のごみ処理に係る課題は多岐にわたり、その事業実施や取組に際しては、これまで以上に多額の費用が掛かるため、町財政全般への影響も懸念するところである。

以上のことから、現クリーンセンター操業停止後速やかに、「広陵町ごみ減量等推進審議会」を再開し、下記の点につき審議し、その結果を広く町民のみなさまに周知することで、広陵町のごみ処理行政について幅広い理解を求めるよう努めることを望む。

### 記

- 1 これまでのごみ減量に向けた取組や行動計画等への評価とその効果を明らかにすること。
- 2 自治基本条例の理念に基づき、町民のみなさまと共に町の環境対策の一つとして今後のごみ減量対策への取組、ごみの分別種類の選定及び収集方法について検討すること。
- 3 住民の作業や金銭的な負担への配慮及び町財政等を考慮した総合的な視点から、指定ごみ袋の価格について慎重に検討すること。

以上、決議する。

令和4年3月22日

奈良県広陵町議会

## 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

少子高齢化や人口減少の進展により、あらゆる現場で人手不足や後継者不足が叫ばれる中で、新しい地域社会の構築は、地方自治体にとって喫緊の課題となっている。また今後は、新型コロナウイルス感染症などの感染症の蔓延を防ぐ上で、人と人との直接的な接触を低減させることが必要となり、働き方や教育、医療や福祉といった、日常生活の現場の変容が求められている。

そして今、政府の「デジタル田園都市国家構想」への取り組みをはじめ、社会のデジタル化への流れが加速する中で、「誰一人取り残されないデジタル社会」の実現を目指して、地域の課題解決に資するデジタル化を、適切かつ迅速に推進し、すべての住民がその恩恵を享受できる社会を構築する時代が到来した。

そこで政府に対して、子どもたちの学びの継続、医療への適時適切なアクセス、分散型社会の構築など、特に地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進について特段の取り組みを求める。

### 記

- 1 すべての子どもたちの学びの継続のために  
すべての地域で、感染症の拡大防止や不登校児童生徒への柔軟な対応など、誰もが何処でも安心して学びが継続できるように、リモート授業を可能にするための通信環境等の整備、デジタル教材や通信料の無償化など、各家庭の状況に配慮した対応ができるよう、所要の措置を講じること。
- 2 医療への適時適切なアクセスのために  
地域住民が安心して医療にアクセスできるよう、オンライン診療等を誰もが身近に受けられるように、現在、オンライン診療を適切に実施する前提となっている「かかりつけの医師」について、各地域に適切に配備すると同時に、その存在と役割を周知する広報活動の充実など、すべての住民が「かかりつけの医師」に繋がれるための取り組みを強化すること。
- 3 分散型社会の構築のために  
地域の新しい兼業農家やデジタル人材の確保に向け、「転職なき移住」を実現するためのテレワークの拡大や、サテライトオフィスの整備等に対する補助金等の拡充や税制の優遇、更に移住者への住宅取得支援や通信料金の軽減など、分散型社会の構築への総合的な取り組みを強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月22日

奈良県広陵町議会

内閣府特命担当大臣(地方創生)	野田 聖子 様
デジタル大臣	牧島 かれん 様
新型コロナウイルス対策・健康危機管理担当大臣	山際 大志郎 様
デジタル田園都市国家構想担当大臣	若宮 健嗣 様

# 令和4年3月定例会 議案採決状況一覧 (○賛成 ×反対)

※採決が分かれた議題のみを載せております。

議案	坂口友良	堀川季延	千北慎也	山田美津代	笹井由明	山村美咲子	坂野佳宏	谷 禎一	吉村裕之	吉村眞弓美	岡本晃隆	青木義勝	岡橋庄次	八尾春雄	議決結果
議案第111号	○	○	○	×	○	○	○	○	議長は採決に加わりません。	○	○	○	○	×	原案可決(賛11・反2)
議案第114号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決(賛11・反2)
議案第215号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決(賛11・反2)
議案第216号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決(賛11・反2)
議案第217号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決(賛11・反2)
議案第218号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決(賛11・反2)
請願第1号	○	×	×	○	×	×	×	○		×	×	×	×	○	不採択(賛4・反9)
議員提出議案第4号	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	否決(賛2・反11)	
議員提出議案第5号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決(賛11・反2)	

<b>賛成</b>	<b>反対</b>	<b>賛成</b>	<b>反対</b>
<p><b>議案第14号</b> 例の一部を改正penaltyについて</p> <p>国保税は、所得202万円の3人家族で21,400円の値上げになる。高い国保税を引き下げることが課題となっているのに県単位化のため来年も引き上げるといふ。これでは必要な医療も受けられず重篤化が心配だ。せっかくの就学前の子どもの均等割半額免除の減額措置も吹っ飛ぶ。</p>	<p><b>議案第11号</b> 広陵町体育施設使用料適正化検討委員会設置条例の制定について</p> <p>町民が健康に過ごしていただけるよう利用料は安い方がよい。 今まで毎週利用されていた方が月2回に減らすなど健康維持に支障が起きる値上げの適正化委員会なので反対。</p>	<p><b>議案第26号</b> 令和4年度広陵町国民健康保険特別会計予算</p> <p>コロナ禍で疲弊している町民が多い中、令和6年県単位化を根拠に値上げを計画している。県単位化そのものが間違った判断だ。</p>	<p><b>議案第25号</b> 令和4年度広陵町一般会計予算</p> <p>老朽化した町営住宅建て替えや無料のPCR検査体制実施の予算がない。町民の命をどう思っているのか、公共交通もドアツードアは考えていない、防災無線も進んでいない予算なので反対。</p>

<b>賛成</b>	<b>反対</b>	<b>賛成</b>	<b>反対</b>
<p><b>議案第26号</b> 令和4年度広陵町国民健康保険特別会計予算</p> <p>コロナ禍で疲弊している町民が多い中、令和6年県単位化を根拠に値上げを計画している。県単位化そのものが間違った判断だ。</p>	<p><b>議案第25号</b> 令和4年度広陵町一般会計予算</p> <p>老朽化した町営住宅建て替えや無料のPCR検査体制実施の予算がない。町民の命をどう思っているのか、公共交通もドアツードアは考えていない、防災無線も進んでいない予算なので反対。</p>	<p><b>議案第14号</b> 例の一部を改正penaltyについて</p> <p>国保税は、所得202万円の3人家族で21,400円の値上げになる。高い国保税を引き下げることが課題となっているのに県単位化のため来年も引き上げるといふ。これでは必要な医療も受けられず重篤化が心配だ。せっかくの就学前の子どもの均等割半額免除の減額措置も吹っ飛ぶ。</p>	<p><b>議案第11号</b> 広陵町体育施設使用料適正化検討委員会設置条例の制定について</p> <p>町民が健康に過ごしていただけるよう利用料は安い方がよい。 今まで毎週利用されていた方が月2回に減らすなど健康維持に支障が起きる値上げの適正化委員会なので反対。</p>

**議案第27号**

令和4年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算

**反対**

平成20年4月から始まったこの制度は、当初「激変緩和措置」を言い訳にしていたが、本年10月から医療費を2倍にする改悪が実行される。年金を減らすことと相まって許されない。

**賛成**

自己負担1割から2割への変更、受診の抑制にならぬように、外来受診は一定期間窓口負担が配慮される。社会全体で負担を調整することで、後期高齢者医療費制度を含む、国民皆保険制度を持続可能な制度とするための見直しであるので賛成する。

**議案第28号**

令和4年度広陵町介護保険特別会計予算

**反対**

昨年8月から施設における食費、居住費の負担限度額が上がり数万円負担増の方もいる。保険料が値上げされ受けられるサービスが減り利用料も上がるこの制度の見直しがいる。

**賛成**

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために、入退院調整ルール等、課題を抱える人に寄り添った包括的な支援の充実に取り組みされているため賛成。

**請願第1号**

広陵町の有料ゴミ袋を半額にすることを求める請願

**反対**

- ・ごみ袋の有料化は、ごみ減量の効果を期待して設定された手数料であり成果を得ている。手数料は適切な時期に適切な組織で議論すべきと考える。
- ・ゴミ減量の成果もあり、建設基金の積み立ては必要であり、新広域施設の建設・運営及びゴミ処理費の負担額の按分は、全てゴミ量割であるので、半額になればゴミ量増加が懸念されるため、現料金は適切である。

**賛成**

- ・請願は、条例改定案と異なり、住民の中には広陵町のごみ袋はこんなに高い、もう少しともな値段にならないのか、という意見に対して、議員がそりやそうやると理解するのかが問われている話だ。採択したら町長が判断したらよいことだ。
- ・住民の皆さんの協力でリサイクルの有資源ごみ回収売却金約1億6,300万円余りがある。一般会計編入するのをやめ、一部住民に還元すべき。

**議員提出  
議案第4号**

政党助成金の廃止等を求める意見書について

**反対**

政党助成制度は、国が政党に対し政党交付金による助成を行うことにより、政党の政治活動の健全な発展の促進及びその公明と公正の確保を図り、もって民主政治の健全な発展に寄与することを目的とした制度だ。

**賛成**

この制度が政党の堕落を招いている、河井元法相の前代未聞の選挙買収事件で明瞭だ。これを廃止してコロナで疲弊している国民に支援すべき。

**議員提出  
議案第5号**

地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書について

**反対**

この意見書は、非常時への対応、低所得者、高齢者、障がい者の切り捨てが危惧され、また、特定の企業の儲けの為に地方自治体を持つ個人情報も利用される危険がある。

**賛成**

感染症の拡大は、「人との接触を避けながら、経済的な接点は維持する」という観点から、デジタル化対応を強く要請する。住民の暮らしを支えるうえで、デジタル技術が果たす役割は大きいと考える。



# 町政を 問う



議長 吉村 裕之

## 一般質問

### 谷 禎一 議員 (15 ページ)

- クリーンセンター跡地利用は貯水機能を
- 将来を見据えた道路整備費は香芝が先行か
- 町にあったボランティアポイント制度を

### 坂口 友良 議員 (16 ページ)

- 公民館関係の生涯学習大いに期待したい
- 放課後塾は好評であるので継続を
- 新たな公共交通を進めたいがどうか

### 岡橋 庄次 議員 (17 ページ)

- 『健幸ポイント事業』について
- 令和7年度からのごみ処理方法は
- 新生児の出産祝い金制度の創設

### 堀川 季延 議員 (18 ページ)

- クリーンセンター広陵の操業停止後について
- 「なりわい」の経営は順調か

### 吉村 真弓美 議員 (19 ページ)

- 広陵町・再エネ導入計画について

### 山田 美津代 議員 (20 ページ)

- 空き家の利活用進展は
- サポートブックを作成しては
- 今の内水対策事業で浸水は防げるか

### 八尾 春雄 議員 (21 ページ)

- 定期的な PCR 検査の実施について
- 中央公民館について
- 自治体のデジタル化について

### 笹井 由明 議員 (22 ページ)

- 脱炭素社会実現に向けた取組状況について

### 岡本 晃隆 議員 (23 ページ)

- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 防災対策について

### 青木 義勝 議員 (24 ページ)

- 高齢者所帯の火事を防ぐには
- 箸尾駅北側特区見直しで開発の影響

### 坂野 佳宏 議員 (25 ページ)

- 認知症向けGPSブレスレットについて

### 山村 美咲子 議員 (26 ページ)

- 健幸都市広陵町をめざして
- 「ホームスタート」事業の実施を

### 千北 慎也 議員 (27 ページ)

- 要介護者がコロナ濃厚接触者の場合の対応
- 新組織！海外姉妹都市提携の締結を期待

一般質問を3月8日～10日に行いました。

なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細につきましてはインターネット中継、または会議録をご覧ください。

会議録は、6月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページにも掲載する予定です。

①答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部次長の発言を要約して掲載する場合に用いています。





谷 禎一

危機管理

クリーンセンター  
跡地利用は貯水  
機能を

**問** 町は町内3カ所に調整池の工事を進めている。菅尾駅周辺は工業団地造成による浸水影響が増す。萱野区域の浸水被害軽減のためにも、中継施設と貯水機能を持たせた公園が適当と考える。また、太陽光発電や水力発電など考えれば。

理事者

県河川課と協議し、下流市街地への影響を及ぼさないよう考える。現在も雨水調整池を設置しているが、別途調整池の設置や広場の保水機能を

まちづくり

将来を見据えた  
道路整備費は香芝  
が先行か

持たせるなど、ごみ処理町民会議での跡地利用の提言を踏まえて貯水量を確保する。

**問** 平成25年より、自転車歩行者道路の整備を要望してきたが、香芝市がCOOP真美ヶ丘店まで植樹帯などを撤去整備し先行した。広陵町側が歩道等の整備計画があれば市はエコール・マミまで延伸する考えだ。自転車レーン(かぐや姫ルート)との関係も併せた歩道整備を市と連携していく必要がある。

理事者

香芝市も歩道整備のため拡大を検討しており、「かつらぎの道」も併せて市と繋がる路線については連携した整備を考える。

幹線道路整備(自転車歩行者道=自歩道)

【広陵町】大谷・奥鳥井線



【香芝市】市道真美ヶ丘幹線



まちづくり

町にあったボラン  
ティアポイント制  
度を

**問** コロナ禍の後、全国の市町村が新しい取り組みを模索しているが、ポイントの付与や保管もデジタル化が進んでおり、容易になっている。最終提案時以後の検討検証はされたのか。

理事者

住民は有償ポイント制度で商品券等の交換希望が多い。本来のボランティアの主旨や、デジタル通貨の観点からも考え、今後検討する。



ともよし さかぐち  
**坂口 友良**

**生涯学習**

**公民館関係の生涯学習大いに期待したい**

**問** 建替に関する検討などを聞き複合化や多機能化など生涯学習にかける当局の熱意に大いに期待すると共に私も協力したい。歴史資料館など複合化も示され、今から学芸員など専門家ボランティアも集める計画も進めていきたいので人材バンクなどの検討はどうか。

**植村教育長**

文化芸術や生涯学習の推進には人の力が必要不可欠である。人材バンクを始めとし、アートマネージャー、コーディネーター人材の育成や講座等にも力を入れ、生涯学習

のまちづくりを進めてまいりたい。

**放課後塾**

**放課後塾は好評であるので継続を**

**問** 小学校での放課後塾は、指導員と児童は1対3の目の細かい学習指導ができ、つまづき場所や苦手箇所もすぐ気がつき、わかりやすいと好評である。少人数指導の効果がでており、児童自身の自信に繋がるので今後もこの体制で継続したいが考えはどうか。

**植村教育長**

児童82名に指導員34名が子どもたちに寄り添った形での学習指導を行っている。しっ

かりと基礎・基本の定着と習慣を身に付け意欲の向上をはかるために継続していく。今年6月からスタートを早めていきたい。

**公共交通**

**新たな公共交通を進めたいがどうか**

**問** 公共交通計画も示され、この中で実現が一番早いと思われるのが自家用有償運送である。コロナ対策ワクチン3回目も進んできたのでストップしたままの広陵ささえ愛会議も再開していきたい。

当局だけではこの計画はできないので地域主体による運行が必要と思うがどうか。

**山村町長**

アンケート調査では75歳以上では38.4%の人が利用を希望されている。広陵元気号の一部を非定時・非定路線型の自家用有償旅客運送に切り替えなど、社会福祉協議会等とも協議を重ね検討していきたい。





おかはし しょうじ  
**岡橋 庄次**

### コロナ対策 『健幸ポイント事業』について

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大とウィズコロナの時代を迎えて、閉塞感を緩和するため、日常的に町民の誰もが気軽に声を掛け合いながら、楽しく健康を維持できるような取り組み『健幸ポイント事業』を実施してはどうか。

**山村町長**

・地域の健康を底上げするため、広陵元気塾は専門職が地域を巡回しているが、今は動画で配信中。  
・本町の健幸ポイント事業はがん予防推進員活動で実施

し、無関心層への働きかけを促す活動にポイントを付与している。

「健幸(けんこう)」とは？

最近普及してきた造語の一つで、健康で幸せ、つまり「身体面での健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること」(広報こうりょう2016年5月号より)

### 環境意識

### 令和7年度からの ごみ処理方法は

**問** ごみ処理方法の変更に伴い、これまで比較的厳しい分別や各地域で行われてきた資

源ごみの収集などにより育まれてきた町民の環境意識や相互交流の場が減衰することを危惧するが、SDGs未来都市として日常的に環境問題に取り組むことを促すなど、これまで以上の取り組みが必要ではないか。

**山村町長**

ごみ分別等の変更により町民の環境問題への意識が薄れないよう、将来にわたって持続可能な資源循環型社会の形成に向け、ごみ減量化・資源化を推進し、毎年9月に開催のごみ減量フェアを新型コロナウイルス収束後には再開したい。

### 子育て支援

### 新生児の出産祝い金制度の創設

**問** 第5次広陵町総合計画の答申にある「地域の魅力や可能性を引き出し、ゆとりと潤いあふれる豊かな生活空間をさらに磨き上げる地方創生」を実現するため、次世代を担う子どもたちへの投資として、新生児の出産祝い金制度の創設をしてはどうか。

**山村町長**

本町では、妊娠・出産・育児を切れ目なくサポートする体制づくりに力を注いでおり、令和4年度からは、機構改革によりこども局の創設を行い、体制を一元化し、なお一層の子育て支援の充実を図る。



ほりかわ としのぶ  
**堀川 季延**

生活環境

クリーンセンター  
広陵の操業停止後  
について

**問**

① 停止後のごみの引き受け先と年間の必要経費について、搬送先ごとの単価と内訳を尋ねる。

② その他プラが可燃ごみと一緒に搬出できるのは、いつから始めるのか。

③ 缶・瓶・ペットボトルの資源ごみを、リサイクルステーションで分別し出しているが、ステーションの廃止決定はいつ頃の見込みか。

④ クリーンセンター広陵の跡地利用計画の進展と、中継施設の施設計画を尋ねる。

山村町長

① 可燃ごみについては、天理市、大和高田市、河合町、三郷町に一トン一万五千円で受け入れをお願いし、残りは民間事業者へ委託する。その他、ペットボトルは一トン八万八千円、容器包装プラは一トン六万六千円、不燃ごみ・粗大ごみと併せ年間三億三千万円を予定している。

② 天理市の広域ごみ処理施設が稼働する令和7年に可燃ごみとして取り扱う予定である。

③ ②でお答えしたとおり令和7年に、地域の意向を踏まえステーション方式を継続か廃止かを協議決定する。

④ 跡地利用は、ごみ処理町民

産業振興

「なりわい」の経営  
は順調か

**問**

広陵町産業総合振興機構なりわいは設立以来2年が経過し、地域産業の育成、農業振興、観光振興の三本柱を担い様々な方向で取り組んでいるが、職員採用や経営について順調か。ビジネスサポートセンターの実績はどうか。

会議で協議願ひ提言をいただく。中継施設は、国の補助が受けられれば、現施設を撤去し新たに中継施設を設置する。今後国・県と協議を進める。

山村町長

なりわいは「町まるごと商品化」をコンセプトに、町、商工会、JA北葛支部総括部長が社員となり、理事会は理事9人、監事2人で構成される。理事会において事業計画や予算が協議され、経営は順調である。

靴下のアンテナショップ「広陵くつした博物館」の運営や地場産品の販路拡大を進めており、ふるさと納税の返礼品としても大きな成果を上げている。また、農家から直接野菜・いちごを仕入れ、介護施設や給食に供給している。

ビジネスサポートセンターは企業などからの相談事業として、227者から1000回を超える相談を受けており、対象範囲を拡大するなど事業者支援に取り組んでいる。

## 環境 広陵町・再エネ導 入計画について

**問** 国においては、30年度までに少なくとも100カ所の脱炭素先行地域を選び、重点的に支援していく方針である。そのことを踏まえ、広陵町は脱炭素先行地域に選ばれるということが重要であると考えられる。そこで、本町における再エネ導入計画について伺います。

① 実行計画の中には、太陽光パネルの廃棄についてきちんと明記すべきである。  
② 将来の公共交通を考えたとき、電気自動車による自動運転も選択肢の中に入れるべきである。

③ 電力の町内経済循環のためには地域新電力会社が要になると考える。しかし、広域でそれを行う場合、広陵町にとってメリットがないのであれば、例えばPPAモデル事業者が地域新電力会社という位置付けとなり、災害時に地域分散型の発電所としての役目を担い、太陽光から集めた電力を地域に分配するということができるのではないか。

PPAモデルとは、需要家の屋根や敷地に太陽光発電システムなどを無償で設置・運用して、発電した電気を需要家自身が購入、PPA事業者はその使用料を支払うビジネス

モデルを指す。PPAモデルには、初期費用、保守メンテナンスなどの維持費を基本的には発生させず電力コストの低減が期待できる。

### 理事者

① 再エネ導入計画が策定されたので、その検証の中で、どのような規定・管理が必要か考えていく。PPAモデル導入時、場合によっては条例制定を間に合わせる必要があることもあると考える。

② 広陵町においては、真美ヶ丘地域で4車線道路を2車線道路にすると仮定して、それを前提として電気自動

車による実証実験がどこまで可能であるのか、そういう具体的なところを見極めながら実証実験を行うことが大切と考える。まずはやってみることが大切である。

③ 広陵町において太陽光が普及し、例えば、災害の観点を含め、蓄電池を一緒に買っていただくとか、その時の契約条件として災害時には緊急用の電源として提供していただくという内容をもり込むということもあろう。そうすることにより、地域分散型の発電所ということ、災害に強いエネルギー供給ということになる。



よしむら まゆみ  
**吉村 真弓美**





やまだ みつよ  
**山田 美津代**

**空家利活用**

**空き家の利活用  
進展は**

**問** 高齢者支援のため安価な家の確保が必要。今にも倒壊しそうな町営住宅や古寺町営住宅では階段があり困難な方もおられる中、賃貸住宅や空き家を、改修をして提供する国の制度セーフティネットを周知して活用すべき。また町内の子ども食堂の居場所として空き家を提供する支援など検討をしていただきたい。

**理事者**

国のセーフティネット制度を県と連携して活用していく。子ども食堂はエコセンターや地域の公民館などの利用も

一案。今後地域のつながりを大切にされた大切な事業として広がりのある事業として協働していく。

**障がい者**

**サポートブックを作成しては**

**問** 検診などで障がいが見つかり発達相談を進められるが、各機関で支援や、フォローが必要な対応を情報共有できていないためサポートブック的なものが有れば今までの履歴を見ることが出来る。葛城市は、つながるブックを作成している情報共有に役立っている。

**理事者**

診断を受けた保護者はお子

様の成長のためにサポートブックを望まれている。このブック作成は先進地の事例を研究して各課、各機関が活用方法について意思統一して取り組む。

**調整池事業**

**今の内水対策事業で浸水は防げるか**

**問** 町は今までの開発を検証して水害防止の徹底を図るべき。  
①バックウォーター現象が起らない地域か。  
②想定する雨量と降雨時間は。

**理事者**

①バックウォーターによる支川の氾濫を防ぐため大きな

支川では堤防を大和川と同じ規格、高さで築造するバック堤としている。  
②雨量は30年から50年に一度発生すると考えて想定。

「バックウォーター現象」とは？  
川などで、下流の水位が増水しているため水が流れずに、水位が増してしまふ事。大雨により増水した本流の流れにせき止められる形で、支流の水位が急激に上がり、合流地点の上流側で支流の堤防の決壊などが引き起こされてしまふ。日本語では内水氾濫。

**その他  
質問事項**

○デマンド交通実施を



はるお 春雄  
やつお 八尾

公衆衛生

定期的なPCR  
検査の実施について

**問** 症状がなくてもコロナ陽性者のいることが知られている。感染予防にはPCR検査の実施が大事で、定期的な無償検査が必要だし、さらに3回目のワクチン接種が大きな効果をもたらすと言われている。陽性感染後に、症状がおさまってくると保健所の電話確認だけで現場復帰というのはいささか無理があるのではないか。

山村町長

本来は発熱・咳の症状がある方に行う検査だが、検査試薬入手が必要で量確保困難である

ること、発症後7日を過ぎると感染性が急激に低下することが知られているので、復帰の際の検査は実施しておりません。

公共施設

中央公民館について

**問** 「公民館建替及び文化芸術の振興のあり方検討委員会」が町長への答申等の中で、「建替に向けて進むとした場合には」と仮定の記述を行っており建替をするか否かの判断は町長に委ねている。どうするつもりなのか。

山村町長

既に明らかにしている通り、

私の任期中にメドをつける予定なのであって、住民各位には建替の約束もしていないし、逆に建替を行わないと断念の意思表示もしていない。現時点での判断はしていないと申し上げている。

デジタル

自治体のデジタル化について

**問** 政府が進めようとしている自治体のデジタル化では、個別自治体の対応を減らして国の基準に一本化しようとして自治体の裁量に制限が加わる上に、自治体が定めた個人情報保護条例を「個人情報利活用」条例に変更する危険が指摘されている。大丈夫か。

山村町長

自治体のデジタル化は令和5年度から適用される予定。国からまだ詳細は明らかにはされていないが、自治体情報システム17業務は国が定めて標準を守ることが義務付けられる。わが町では住民サービス向上の観点から慎重に吟味して進める予定にしている。

その他  
質問事項

○箆尾準工業地区の開  
発で希望企業が明らかになった。



箆尾準工業地区造成工事



ささい よしあき  
**笹井 由明**

**環境対策**  
**脱炭素社会実現  
に向けた取組状  
況について**

**問** 広陵町地球温暖化計画の  
現在までの取組内容に対する  
評価と課題は。

**山村町長**

地球温暖化実行計画では、公  
共施設の温室効果ガス総排出  
量の削減目標を2030年度  
までに2013年度比78.9%  
の削減を目指すとしており、ク  
リーンセンターの稼働停止や  
さわやかホールほかのESCO  
事業<sup>(※1)</sup>の実施などから目標  
達成は可能であると判断して  
いる。

**問** 地域再生可能エネルギー  
導入計画推進の具体策は。

**山村町長**

本町が2050年までに  
カーボンニュートラル<sup>(※2)</sup>を  
実現するためには、電気利用者で  
ある需要家が発電事業者<sup>(※3)</sup>に  
屋根などのスペースを提供し、発  
電事業者が太陽光パネル等の  
発電設備の設置と運用・保守を  
実施し、現地で発電した電力を  
需要家に供給するといった取組  
や、電気自動車充電スポット整  
備など、公共部門のみならず、  
住民、事業者の協力も必要とな  
ることから、広報、啓発活動にお  
いても分かりやすく説明する  
よう心掛けたい。

**問** 大和平野中央スーパース  
ティ構想と本町実行計画との  
関連性は。

**山村町長**

奈良県では、県立大学工学系  
第2学部の設置と10年後の国  
体開催のためのスポーツ施設  
の建設を軸に「大和平野中央プ  
ロジェクト」を表明された。こ  
れは、国のスーパースティ構想  
に目標が一致するところが多  
いとされ、磯城郡3町を対象区  
域に検討が進んでいる。  
本町カーボンニュートラル  
との関連において影響を及ぼ  
す可能性があることから、動向  
を注視していきたい。

**問** 2050年脱炭素実質ゼ  
ロ表明における本町の考えは。

**山村町長**

本町のカーボンニュートラ  
ルの実現には、クリーンセン  
ターの操業停止によるCO<sub>2</sub>削減  
効果が大きく寄与する。操業停  
止後の焼却処理は、天理市はじ  
め共同運営する自治体との協  
議を踏まえ、適切な表明方法を  
探していきたい。

(※1) ESCO 事業では、事業導入によ  
る省エネルギー効果を ESCO  
事業者が保証することで、自治  
体の利益を保証する。万が一、  
省エネルギー効果が発揮でき  
ず自治体が損失を被るような  
場合には、これを ESCO 事業者  
が補填する仕組み。

(※2) カーボンニュートラルとは、地  
球上の温室効果ガスの排出量  
と吸収量・除去量を均衡させ  
ることを意味している。





おかもと 岡本  
てるたか 晃隆

### コロナ対応

## 新型コロナウイルス 感染症への対応

問

- ① 教育委員会の新型コロナウイルス感染者への対応について。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策本部の役割。

理事者

① 子どもたちやご家族の方の感染が確認された場合は、保護者に速やかに各校園に連絡をいただくようお願いしている。保護者からの連絡を受けた校園は、保育園、幼稚園はこども課に、小中学校は教育委員会に報告するよう校園長会で周知徹底

している。

学校環境での対応については、県教育委員会が示す「新型コロナウイルス感染症にかかる学校教育活動に関するガイドライン」に従って対応している。

② ワクチン接種を推進するための新型コロナウイルス接種対策本部とともに、新型コロナウイルス感染症に関する事象を収集して、その対策と支援をどのように行っていくのかを協議し、町民に向けての広報を行うことが主な役割である。今後も、ワクチン接種を推進し、町民のみなさまにコロナ対策を徹底していただくよう周知に努めることが必要であると考えている。

### 防災

## 防災対策について

問

- ① 広陵町の防災の取組は、福祉避難所の確保・運営ガイドラインに対応しているか。
- ② 個別支援計画に対する町の対応について。

理事者

① 次の3点で対応を考えている。

- ・ 指定避難所を、「指定一般避難所18か所」と「指定避難所9か所」とに分けて指定し、指定避難所の受入対象者を特定すること。
- ・ 要配慮者のうち、障がいをもつ方等については、事前に指定福祉避難所ごとに受入対象者の調整を行い、避難の推進を図ること。
- ・ 指定避難所におけるトイレのバリアフリー化等の環境整備を図ること。

② まず、指定福祉避難所の受入対象者の人数等を把握。次に小中学校の他に指定福祉避難所として利用可能な施設への協力を要請するとともに、必要な施設設備や物資、機材、人材の確保を進めていく。そのうえで、要配慮者の意向や地域の実情を踏まえつつ個別支援計画の随時更新に取り組んでいく。

火災を防ぐ

高齢者所帯の  
火事を防ぐには



あおき よしかつ  
**青木 義勝**

問

① 高齢者の火災死亡が南区で1月中旬に3名焼死され、延焼被害もあり高齢者は認知と運動機能の低下で出火の察知と機敏な対応が不可能で結果、焼死とされ、延焼させて被害が嵩むのを防ぐために火災をいち早く感知して音で知らせて当人と家族、近所に察知を促す火災警報器の早急な設置に助成を求める。

② 身寄りのない住民が生前中に強い意志で、死後全ての処理後の遺産を本町に委譲すると書面で希望された場合の対応

が可能となる仕組みの調査研究を求める。空家対策にもなるのでは。

山村町長

① 令和4年度から75才以上の高齢者のみの世帯に対し、火災警報器の設置に係る助成を実施する。対象世帯は約千二百件である。詳細が決定すれば広報等で周知する。

② 悪用される懸念もあるので十分調査研究する。

土地活用

箸尾駅北側特区見  
直して開発の影響

問 箸尾駅周辺開発は本町の重要施策である。特区は想定浸水3m以上で除外となる。その

件に関連する質問である。

- ① 10ヶ所の除外の影響。
- ② 開発拠点である駅前の一部に3m以上の箇所があるが、事業に対する国の補助制度への影響。
- ③ 事業の新たな付帯条件及びその件をクリアする手段を問う。
- ④ クリーンセンター跡地及び南側敷地の活用への影響。

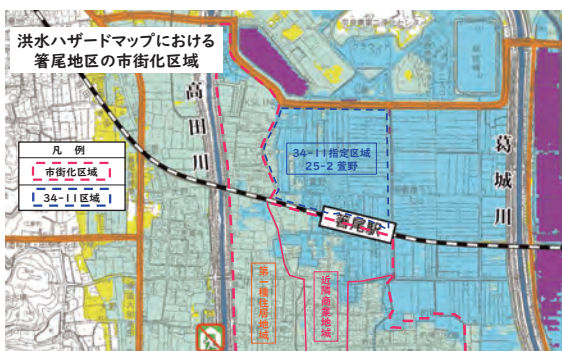
山村町長

① 除外の区域は開発が進んでなく、そして第一種農地と重なる箇所もあり影響が少ない。

② ③ 立地適正化計画を定め居住促進の拠点として駅周辺を位置づけて、レッドゾーンからイエローに分類され

たので防災計画を整備して浸水被害の防止区域の指定及び開発可能に向け、県と協議する。

④ 十分な防災対策を講じるので、それを踏まえて活用の検討を願う。



▲浸水防止対策で活用

認知症対策

認知症向けGPS  
ブレスレットに  
ついて

**問** 年々、認知症を発症した高齢者が増えてきている。

将来に向けて、在宅介護を中心とした介護サービスを目指す広陵町として、GPS機能をもったブレスレット等の検討状況はどうか。

介護者が気軽に利用出来る施策を早期に考えていただきたい。

- ・ 導入時期はいつごろか。
- ・ サービス導入時の無償、有償の考えはどうか。
- ・ 最も効果的な埋込チップの現状はどうか。

山村町長

認知症向けGPSブレスレットは最近、色々な会社から販売され始めていることは認識している。

当人の位置情報をGPS機能付きでブレスレットにしたり、靴に埋め込んだり、ペントにしたりと多様な形態のものがある。

本町でも最近、認知症の方の徘徊等で行方不明事例が発生しているので、対応策として当人の位置情報を把握する機器としては極めて有効性が高く、必要なものであると考えている。

なお、介護保険サービスの福祉用具貸与の貸し出し品の中には、認知症老人徘徊感知機器というものがある。

現在、未来都市推進課では、位置情報の確認システムについて、どのような仕組みでどのような端末が良いのか、その有効性や経費の面などを検討している。

その準備として児童、生徒への見守りタグの導入を優先して検討してきた。

タグの場合は、電波到達範囲が200m程度と言われており、位置情報把握のための方法として学校単位で導入し、保護者の保有するスマートフォン等が受信機となることから、一気に受信範囲が広がると考えている。

認知症等の方の導入は未定であるが、令和4年度の児童、生徒の実証実験を実施し、効果を

見極めた上で導入を目指したい。価格は導入形態によって変わるため、対象者によって補助を考えており、無償貸与を原則として検討していく。

生体への埋込チップについては、技術的には可能となっているが、現在のところ、体への影響評価や法整備がなされておらず、将来的な事案と考えている。

「GPS機能」とは？

基本的には「人工衛星（GPS衛星）から発せられた電波を受信し、現在位置を特定する」もので、地球を周回しているGPS衛星の電波を端末が受信し、位置・距離・時刻などを計算して、現在位置を測位している。



よしひろ  
坂野 佳宏





やまむら みさこ  
**山村 美咲子**

**健康づくり**

**健康づくり  
めざして  
健幸都市広陵町を**

**問** 人生100年時代を見据えて、自然に運動する、町に出かける、結果歩いてしまうという健康づくり無関心層の行動が自然と変化するよう、健康なまちづくりをめざし

① 広陵町と畿央大学との連携で進めてきた「KAGUYAプロジェクト」の成果と課題について。

② 「歩いて暮らせるまち」をめざしての取り組みについて。

**山村町長**

① 成果はプロジェクトを通して、介護予防リーダーの育成と地域住民と学生に協働

の場が設けられたこと。課題としては、検証が研究期間内に遂行できなかったこと。

② 先進地の取組事例を確認し、まちづくり事業に反映していく。

「健幸（けんこう）」とは？  
17ページ岡橋議員一般質問参照してください。

**子育て支援**

**「ホームスタート」  
事業の実施を**

**問** 「ホームスタート」とは、乳幼児がいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が、週に1回2時間程度、無償で訪問し、「傾聴」親の気持ち

を受け止めて話を聴くこと」と「協働」（親と一緒に家事や育児、外出などをする）をする家庭訪問型子育て支援ボランティアである。2021年度補正予算で創設された国の新事業で、全国実施をめざすものである。広陵町での実施に向けての考えはいかがか。

**山村町長**

事業を進めるにあたり、訪問支援員の養成等、人材の確保が必要である。NPOやボランティアと調整を図っていく。令和4年度から子ども局を創設し、母子保健と児童福祉の一元的な相談支援機能を持たせた子ども家庭総合相談センターとして、相談支援の強化を図る。



ちぎた しんや  
**千北 慎也**

**コロナ対応**

**要介護者がコロナ濃厚接触者の場合の対応**

**問** 夫婦ともコロナに感染し、家庭で介護中の母親の介護が難しくなったが、母親は濃厚接触者となり介護施設への入所やショートステイは断られた、と相談があった。国や県の基準に則った判断と理解できるが、制度の狭間の事例に町として柔軟な対応を期待したい。県等と連携した要介護の濃厚接触者向けの施設整備や町で実施しているサポートパックの応用ができないか。また、今後、既存のルールやマニュアルで対応できない

い事例が出てきたときにどのような対応をするか。

**理事者**

町も課題だと認識し、町独自の対策が取れないか検討した。今回の事例では、療養施設で隔離し、隔離期間の終了後に介護施設への入所が可能になる旨をきちんと伝えるべきだった。事例は県にも共有し、何か対策ができないか検討する。また、制度の狭間の事例については、感染症法にも留意し、丁寧な対応を心がける。

**姉妹都市**

**新組織！海外姉妹都市提携の締結を期待**

**問** 町内企業の海外展開への取組みもあり、地域ブランド「広陵くつした」を世界にアピールする必要があると考える。また、GIGAスクール構想により1人1台情報端末が用意され、子ども達が世界とつながることができる土台が整っている。産業・教育の両面から海外との接点を作るきっかけとして姉妹都市の提携を結んではどうか。また、「広陵くつした」について海外の評判は。さらに、学校単位で海外とつながる取組も可能と思うがどうか。

**理事者**

どのような都市と姉妹都市を締結すべきか探っていく。また、「広陵くつした」に関

しては町外から、広陵で靴下を作りたい、というリクエストをいただき商工会を通じてマッチングを実施した。今後さらにPRを進める。さらに、校長会において過去のALITを通じた海外都市とのオンライン講座など、何か実施できないか探っている。今後段階的に取り組みを進めていきたい。

ALITとは

ALIT(外国語指導助手)・・・外国語を母国語とする外国語指導助手。小学校や中学校・高等学校に児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に各教育委員会から学校に配置され、授業を補助する。

# 委員会の窓

## 総務文教委員会

**議案第10号** 広陵町教育・文化芸術振興基金条例の制定について

**質問** ふるさと応援寄付金と振興基金に違いがあるのか。積立財源の活用は。

**回答** ふるさと納税の使い道検討委員会・基本計画に沿った文化芸術、生涯学習分野にも活用。条例の改正、明記も協議しながら進める。

**全員一致で可決すべきものと決しました。**

**議案第11号** 広陵町体育施設使用料適正化検討委員会設置条例の制定について

**質問** 委員の任期は。過去5回の検討委員会の意見は。

**回答** 来年度から予定。過去の委員会の意見は、グラウンド使用料は見合わせた。テニスコートは、500円を少し安くとも意見があった。

た。体育館は、使用料の値上げは延期希望。最終的には、近隣市町村に合わせる方向で考える。

**賛成多数で可決すべきものと決しました。**

**議案第12号** 広陵町行政組織条例の一部を改正することについて

**質問** 脱炭素は、担当課が環境政策課に移行するが、補助事業や戦略デザイン等の連携は。総合政策課の「行政評価」でマイナスイ評価の場合の見直し体制は。

**回答** 補助事業等は、検討段階から関係課と連携しており、継続して対応する。審議会で審議し判断する。その施策を廃止、他のやり方に変更することなど総合的に判断する。

**全員一致で可決すべきものと決しました。**

**議案第21号** 令和3年度広陵町一般会計補正予算(第14号)

**質問** かぐや姫まつり事業費や町文化祭、町民体育祭など、合わせて約1,700万円の減額補正は9・10月で減額できたのではないか。

**回答** 例年、3月議会で行っている。12月議会では減額予算の利用が確定できていない。

**全員一致で可決すべきものと決しました。**

**議案第22号** 令和3年度広陵町学校給食特別会計補正予算(第1号)

**質問** 給食回数が減での返金等は。保護者への周知は。

**回答** 給食費の減免は、一月で連続7回以上欠食した場合減免。欠食日数を確認して、該当する保護者に申請書をお渡ししている。減免は今後も継続する。

**全員一致で可決すべきものと決しました。**

## 抗議文

令和4年(2022年)3月11日

ロシア連邦大統領  
ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

2022年2月24日、貴国は一方的にウクライナへの軍事侵攻を行い、ウクライナ各地への攻撃により、多くの罪のない市民が犠牲になっています。

このことは国際社会の平和、秩序及び安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて許すことはできません。

また貴殿は、今回の軍事攻撃に当たり、核戦力の行使をも示唆されています。

我が国は核兵器がもたらした破滅的な被害を知る被爆国であり、核による脅威を振りかざすこのような言動を看過することはできません。

ここに奈良県広陵町として、世界の恒久平和実現に向け、貴国の軍による攻撃やウクライナの主権侵害に強く抗議します。

日本国 奈良県 広陵町  
町長 山村 吉由  
町議会議長 吉村 裕之



第1回定例会（3月議会）に上程され、総務文教委員会・厚生建設委員会に付託された17件について審査を行いました。その結果は本議会に上程され採決されます。その主な内容と結果をお知らせします。

### 厚生建設委員会

#### 議案第14号

広陵町国民健康保険税条例の一部を改正することについて

**質問** 今回の提案は、国保税をあげなければならないという趣旨なのか、下げなければならないというものなのかどちらか。

**回答** 令和6年度に県単位化ということで、保険税率を統一化します。広陵町においては、医療費が上がっていることもあり、今回の改正をさせていただいた。未就学児に係る均等割の減額については、財源を獲得することができたので5割軽減を実施することができた。しかし、全体的に考えると、上がるという税率改正を行っていく必要があると考えている。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

#### 議案第17号

広陵町子ども医療費助成条例の一部を改正することについて

**質問** 4月から成人年齢が18歳からとなる。予算の見直しについていかがか。

**回答** 子ども医療費助成という中で、対象者を18歳の誕生日を迎えられ、最初の3月31日までの方という年齢設定に拡充させていただいた。1年間で1,500万円程度になる予定で、8月からの施行であることから約770万円の計上をさせていただいた。

全員一致で可決すべきものと決しました。

#### 議案第18号

広陵町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正することについて

**質問** 交通量の多い横断歩道の安全対策についてはいかがか。

#### 回答

通学路の安全対策やバリアフリー、点字ブロック等の整備を進めていきたいと考えている。

全員一致で可決すべきものと決しました。

#### 請願第1号

広陵町の有料ゴミ袋を半額にすることを求める請願について

#### 経緯

去る2月25日、寺前憲一氏他753名の連署により標記の請願の提出があり議長がこれを受理した。その後144名の署名が追加された。

3月14日の厚生建設委員会では、冒頭、2名の請願者から請願の趣旨について説明を受け、質疑応答・採決を行った。

**質問** 説明した請願者がかつて議員であった際には「無料が当然」としていたのに今回の請願では「半額を求めるとなっている。何故変えたのか。

#### 請願者回答

無料化となれば、理解されない住民の方もおられるので、断腸の思いで方針を変更した。広陵町がゴミ袋の原価の4倍もの暴利をする（得る）商売はやってはならない。こういうことが大きな理由だ。

#### 参考

#### 議会基本条例第6条第4項

議会は、請願及び陳情を町民による政策提案と位置づけ、その審議及び調査に当たっては、提出者が希望した場合は、意見を述べる機会を保障するものとする。

#### 地方自治法第124条

普通地方公共団体の議会に請願しようとする者は、議員の紹介により請願書を提出しなければならない。

賛成少数で不採択すべきものと決しました。

議会公口誌



- 2月 3日 北葛城郡町議会議長会総会
- 22日 全員協議会
- 28日 議会運営委員会
- 24日 第2回臨時会
- 28日 厚生建設委員会
- 24日 総務文教委員会
- 28日 全員協議会
- 24日 国保中央病院組合議会
- 28日 議会運営委員会
- 24日 常任委員長会
- 3月 4日 第1回定例会(招集)
- 8日 第1回定例会(2日目)
- 9日 第1回定例会(3日目)
- 10日 第1回定例会(4日目)
- 11日 県町村議会議長会定期総会
- 14日 政策討論会
- 14日 総務文教委員会
- 14日 厚生建設委員会
- 15・16日 予算審査特別委員会
- 22日 議会運営委員会
- 28日 第1回定例会(最終日)
- 28日 議員懇談会
- 28日 第1回広報編集委員会
- 4月 5日 第2回広報編集委員会
- 15日 議会運営委員会
- 18日 第3回臨時会
- 18日 第3回広報編集委員会



議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議員または事務局員が写真撮影に伺うことがございます。その際は、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記



新緑の息吹と共にコロナ禍を乗り越えて、議会も一歩前に：町当局も第5次総合計画を策定され、その目標達成に向け行政組織が改定されました。

議会は町民サイドでの機能を検証して、必要な場合は改正を求めていきます。

このメンバーでの発刊はこの号で最後です。

皆様のご期待に添えたかと不安ですが、担当の2年間多くの方々のご助言、協力に感謝いたします。ありがとうございます。

広報編集委員会

- 委員長 八尾 春雄
- 副委員長 千北 慎也
- 委員 菅井 由明
- 委員 吉村 眞弓美
- 委員 岡本 晃隆
- 委員 青木 義勝

この広報は、有害な排水を出さない「水なし印刷」を採用しています。SDGsの掲げる17の項目に対して、8つの項目で具体的な貢献をします。

